

「駅が遠い」
「バスが通らない」

公共交通不便地域を
解消しよう！

砧1～8丁目が「モデル地区」 に選ばれました

住まいから「駅やバスの停留所が遠い」という地域を、「公共交通不便地域」といいます。区によると、不便地域に住む住民は15万3268人です。

この間、砧・大蔵地域の方々が「祖師ヶ谷大蔵駅南側にも、『くるりんバス』（コミュニティバス）のようなものを通してほしい」という運動を行なっています。

住民の方々と共に江口区議は、この要望を議会で求めてきました。

先般区より、「公共交通不便地域対策調査・検討」のため、砧1～8丁目をモデル地区に選定するという報告がありました。

●住民の運動が区政を動かす 保坂区長「新たな発想で取り組む」

これまで、砧・大蔵地域の方々から、「年を取って自転車に乗れなくなり、病院や駅に行くのが大変」等の多くの声が寄せられていました。

地域の住民で作る「砧・大蔵交通不便地域を考える会」は、平成27年に住民アンケートを実施。その結果、76%が「ミニバス運行を要望」と回答しました。

江口区議は、平成27年10月16日の区議会決算特別委員会でこのアンケート結果を取り上げ、砧・大蔵の不便地域解消を求めて質問。

保坂区長は「新たな発想で取り組む」と答弁しました。

平成28年度から、公共交通不便地域対策の調査・検討（期間は2年間）が実現しました。



↑祖師ヶ谷大蔵駅北口～成城学園前駅を走るくるりんバス

●区が「公共交通不便地域対策 調査・検討」の中間まとめを発表

今年3月区は、「公共交通不便地域対策調査・検討 中間まとめ」を報告。（以下、概要）

- ・今後の「取り組みの方向性の想定」
「地域住民などが協働して地域の課題を解決し、公共的なサービスを運営していくという新たな住民自治のしくみづくりの推進」
- ・今年度の取り組み
「ワゴン車などを活用した新たな移動手段の検討の素地」のため、モデル地区を選定、調査・導入検討を進めます



日本共産党世田谷区議会議員 2017年号外

こんにちは **江口 じゅん子**です

連絡先 メール eguchi3604@gmail.com

世田谷区世田谷4-21-27 区議団控室 TEL5432-2791 FAX3412-7480

ニーズ調査や導入検討のため、 砧 1 ～ 8 丁目がモデル地区に選定

今年6月、砧1～8丁目をモデル地区に選定する旨の報告がありました。
今後区は、主体的に導入に取り組もうとする地域団体等と連携し、中型（乗車定員11～29人）・普通（乗車定員11人未満）車を用いた移動手段の検討を進めるとしています。
主な取り組み内容としては、勉強会の実施、モデル地区でのニーズ調査（アンケート等）、ワゴン車などを活用した新たな移動手段の検討を行うとしています。

☆砧まちづくりセンターにて、 区主催の勉強会が開かれます！

第1回目となる勉強会（ワークショップ形式）が下記の通り開かれます。
地域の要望を直接伝え、また住民同士で話し合う初めての場です。
ぜひ、ご参加をおすすめします。

○開催日時

8月7日（月）1時半～3時半 砧まちづくりセンター 活動フロア

*参加のお申し込みは、世田谷区 交通政策課 Tel5432-2535 まで



●住民の運動が、区を動かす！ 課題は「採算性」、引き続き皆様と頑張ります

「砧・大蔵地域にも交通手段がほしい！」という地域の方々と共に頑張ってきました。区を大きく動かしたのは、住民運動の大きな成果です。導入検討～本格運行まで、課題となるのは「採算性」です。引き続き、区へ財政支援を求めていきます。

< 区議団主催の視察のお誘い >

区は、地域住民と自治体の連携で、地域の足となる交通手段を実施している先進自治体として、横浜市の「横浜市地域交通サポート事業」を紹介しています。世田谷区としても大変参考になる取り組みです。ぜひ、一緒に視察に行きましょう。

◆視察日・場所

8月30日（水） 時間は調整中
横浜市旭区四季見台にて

◆内容（予定）

日本共産党横浜市議団からのお話を聞く
ワゴン車タイプのコミュニティバス
「四季めぐり号」（右写真参照）の乗車など

◆お問い合わせ・お申込みは、区議団控室

Tel 5 4 3 2 - 2 7 9 1

Fax 3 4 2 6 - 7 2 2 9 メール kugidan@jcp-setagaya.jp

